



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インターアクション

コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木地 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 木地 伸雄

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	460	90.0	83	369.2	85	275.6	40	△56.7
25年5月期第1四半期	242	89.0	17	—	22	—	94	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 39百万円 (△58.0%) 25年5月期第1四半期 94百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	406.17	405.37
25年5月期第1四半期	1,199.45	1,190.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	3,381	2,143	63.3	21,315.50
25年5月期	3,355	2,154	64.2	21,422.61

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 2,142百万円 25年5月期 2,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	500.00	500.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	0.00	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,182	160.9	194	1,752.9	198	1,077.9	183	110.2	1,820.80
通期	4,543	199.7	591	100.2	604	83.1	558	33.6	5,551.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	100,521 株	25年5月期	100,521 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	16 株	25年5月期	16 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	100,505 株	25年5月期1Q	78,543 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和政策や経済対策による円安傾向と株価の回復基調を背景に、企業収益の改善や個人消費の回復など、緩やかな回復傾向にはあるものの、米国金融政策の行方や依然として続く欧州諸国の債務問題など、引き続き先行きがやや不透明な状況で推移いたしました。当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいても、一部の顧客で好調なスマートフォンやタブレット端末向け製品の設備投資の動きが見られるものの、中長期的な投資戦略にはやや慎重な姿勢が見られました。このような状況の中、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、堅調に推移いたしました。太陽光発電関連製品につきましては、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による太陽光発電システムの需要を見込み、遊休地等の活用のため商品化した「OHISAMA SYSTEM」の拡販に注力いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は460百万円（前年同四半期の売上高242百万円に比し、90.0%の増加）、売上高の拡大及び原価率の改善等により、売上総利益は285百万円（前年同四半期の売上総利益138百万円に比し、105.6%の増加）、営業利益は83百万円（前年同四半期の営業利益17百万円に対し、65百万円の利益増加）、貸与資産賃貸料及び為替差損等を加減した経常利益は85百万円（前年同四半期の経常利益22百万円に対し、62百万円の利益増加）、繰延税金資産の減少による法人税等調整額等を加減した四半期純利益は40百万円（前年同四半期の四半期純利益94百万円に対し、53百万円の利益減少）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

(光源装置)

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、生産設備の増強を伴う光源装置本体の受注及び半導体メーカーの稼働率改善を受けたメンテナンスサービスが共に堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は372百万円（前年同四半期の売上高188百万円に比し、98.2%の増加）、セグメント利益は230百万円（前年同四半期のセグメント利益88百万円に対し、141百万円の利益増加）となりました。

(太陽光発電関連製品)

太陽光発電関連製品につきましては、連結子会社である株式会社BIJにおける「OHISAMA SYSTEM」の販売は、前年同四半期並みに推移いたしました。連結子会社であるおひさま農場株式会社におきましては、余剰電力買取制度または固定価格買取制度に基づく売電収入は少額に留まりました。当第1四半期連結会計期間に完成した大規模太陽光発電所（銚田市）の売電収入の本格的な貢献は、第2四半期連結会計期間からを予定しております。また、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業に関して、当社は「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトを開始し、ソロモン諸島の電力網の届かない過疎地域へソーラーホームシステム2,000台の設置を進めており、このプロジェクトによる売上高は、当第1四半期連結累計期間に46百万円計上しております。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は86百万円（前年同四半期の売上高43百万円に比し、99.0%の増加）、セグメント損失は41百万円（前年同四半期のセグメント利益2百万円）となりました。

(その他)

当第1四半期連結累計期間における画像検査装置の外部顧客に対する売上高は1百万円（前年同四半期の売上高10百万円）、セグメント利益は0.3百万円（前年同四半期のセグメント利益5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、3,381百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ189百万円減少し、2,516百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が219百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、865百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具（その他有形固定資産）が190百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、1,238百万円となりました。これは、前受金が44百万円減少したものの、短期及び長期借入金の純増81百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、2,143百万円となりまし

た。これは、四半期純利益40百万円を計上したものの、前事業年度の期末配当金50百万円による資本剰余金の減少等によるものであります。また、平成25年8月28日開催の定時株主総会決議に基づき、その他資本剰余金のうち206百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、連結経営成績については概ね計画通り推移していることから、現時点におきましては、平成25年7月12日に発表いたしました業績予想について第2四半期連結累計期間、通期ともに変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,522,863	1,454,025
受取手形及び売掛金	328,201	108,614
営業投資有価証券	260,000	260,000
商品及び製品	26,978	37,404
仕掛品	269,213	304,641
原材料及び貯蔵品	118,199	183,371
その他	181,928	169,069
貸倒引当金	△1,721	△761
流動資産合計	2,705,663	2,516,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	231,856	240,018
土地	117,663	118,413
その他(純額)	239,561	425,593
有形固定資産合計	589,080	784,025
無形固定資産		
その他	6,589	7,876
無形固定資産合計	6,589	7,876
投資その他の資産		
投資有価証券	236,878	236,878
その他	93,043	112,955
貸倒引当金	△276,163	△276,163
投資その他の資産合計	53,758	73,670
固定資産合計	649,428	865,572
資産合計	3,355,092	3,381,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,326	42,737
短期借入金	173,000	282,000
1年内返済予定の長期借入金	118,708	117,792
未払法人税等	21,340	13,738
前受金	293,968	249,735
賞与引当金	—	9,695
製品保証引当金	3,238	2,779
その他	98,921	122,589
流動負債合計	780,503	841,069
固定負債		
長期借入金	386,198	359,211
退職給付引当金	8,565	9,065
その他	25,255	28,787
固定負債合計	420,018	397,063
負債合計	1,200,522	1,238,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,793,555	1,537,028
利益剰余金	△254,674	△7,578
自己株式	△1,911	△1,911
株主資本合計	2,147,951	2,138,521
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,127	3,793
その他の包括利益累計額合計	5,127	3,793
新株予約権	1,490	1,490
純資産合計	2,154,569	2,143,804
負債純資産合計	3,355,092	3,381,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	242,595	460,952
売上原価	103,932	175,890
売上総利益	138,662	285,062
販売費及び一般管理費	120,960	202,002
営業利益	17,702	83,059
営業外収益		
受取利息	402	220
受取配当金	1	101
貸与資産賃貸料	9,946	9,375
その他	1,720	3,340
営業外収益合計	12,071	13,037
営業外費用		
支払利息	2,738	3,665
為替差損	426	4,256
貸与資産諸費用	2,696	2,494
その他	1,280	678
営業外費用合計	7,142	11,095
経常利益	22,631	85,001
特別損失		
固定資産除却損	—	2,276
特別損失合計	—	2,276
税金等調整前四半期純利益	22,631	82,725
法人税、住民税及び事業税	571	13,359
法人税等調整額	△72,149	28,544
法人税等合計	△71,577	41,904
少数株主損益調整前四半期純利益	94,208	40,821
四半期純利益	94,208	40,821

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	94,208	40,821
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△105	△1,334
その他の包括利益合計	△105	△1,334
四半期包括利益	94,103	39,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,103	39,487
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年8月28日開催の定時株主総会決議に基づき、その他資本剰余金のうち206,273千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行ったこと等により、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,537,028千円、利益剰余金が△7,578千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	188,084	43,649	231,734	10,860	242,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	188,084	43,649	231,734	10,860	242,595
セグメント利益	88,429	2,938	91,368	5,574	96,942

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	91,368
「その他」の区分の利益	5,574
全社費用(注)	△78,103
たな卸資産の調整額	△1,136
四半期連結損益計算書の営業利益	17,702

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	372,739	86,863	459,602	1,350	460,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	372,739	86,863	459,602	1,350	460,952
セグメント利益又は損失(△)	230,329	△41,768	188,560	398	188,959

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	188,560
「その他」の区分の利益	398
全社費用(注)	△104,215
たな卸資産の調整額	△1,683
四半期連結損益計算書の営業利益	83,059

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。